

「Buddycom」が衛星通信「au Starlink Direct」での実証に成功 ～専用アンテナ不要で電力・ガス・インフラなど あらゆる現場の「圏外」をゼロに！^{※1}～

株式会社サイエンスアーツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 竜太郎）は、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」が、KDDI 株式会社から提供される衛星通信「au Starlink Direct」環境下での実証試験を実施し、トランシーバー通話^{※2}検証において音声通話ができることを確認したことをお知らせします。^{※3}



Buddycomが衛星通信 au Starlink Direct での実証に成功

専用アンテナ不要

電力・ガス・インフラなどあらゆる現場の **圏外** をゼロに！

■背景

建設業（山間部のダムや道路工事）、物流・運送業、インフラ保守、船舶、消防等の現場では、通常の携帯電話回線が届かない「圏外エリア」での業務が日常的に発生しており、現場作業者の安全管理や、本部とのリアルタイムな業務連絡が困難になるという課題がありました。

当社はこれまでも衛星通信サービス「Starlink Business」を利用した通信確保を提案してまいりましたが、専用アンテナを設置・運搬できない移動中の車両や過酷な屋外現場においては、スマートフォン単体での通信網確保が強く求められていました。そこで今回、空が見える環境であれば自動で衛星と接続できる「au Starlink Direct」を用いた Buddycom の通信実験を実施いたしました。

■期待される日常業務での活用シーン

- **電力・ガス等のユーティリティ**
電波不感地帯での非常時の迅速な通信手段の確保。
- **建設・土木・インフラ保守**
山間部のダム建設や道路工事、送電線保守など、圏外になりやすい現場での作業進捗の報告や、本部からのリアルタイムな指示出し。
- **林業・水産業**
携帯電話の電波が届きにくい山林や、領海・接続水域などの海上における現場業務の支援。

■今後の展望

当社は今回の実証試験を受け、「au Starlink Direct」環境下において Buddycom をより安定してご利用いただけるよう、2026 年夏頃の正式対応に向け、技術検証および開発を加速してまいります。^{※4}

今後も、防災・消防、鉄道や電力におけるインフラ保守など、あらゆる場所のフロントラインワーカーがいつでもつながるコミュニケーション基盤を提供してまいります。

■au Starlink Direct とは (<https://www.au.com/brand/tsunagu/starlink/>)

「au Starlink Direct」は、スマートフォンが約 650 基の Starlink 直接通信衛星とつながり、空が見える場所なら圏外エリアでも通信できるサービスです。メッセージ送受信／位置情報共有／緊急地震速報受信／AI 相談に加えて、対応アプリでのデータ通信が利用できます。

au の人口カバー率は 99.9% を超えています。日本特有の地形により、面積カバー率は約 60% です。「au Starlink Direct」は、残りの約 40% も含めた日本全土での通信を可能にします。通信環境の整備が困難な山間部や島しょ部でも、家族や友人との連絡手段や緊急時の活用が期待できます。

au をご利用のお客さまに加え、他社回線を契約中のお客さまもご利用いただけます。

■Buddycom とは (<https://buddycom.net/>)



フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム

「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報（IoT）に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段としての活用がされています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 5 年連続シェア No.1^{※5} を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※1 周りに木や山、建物などの遮蔽物がある場合など、利用環境により接続が制限される場合があります。

※2 トランシーバー通話とは、通信ボタンを押している間だけ音声を送信される PTT（プッシュ・トゥ・トーク）を指します。

※3 Buddycom が必要とする通信帯域要件を満たす必要があります。

※4 映像配信や MAP 通話は機能制限が掛かる場合がございます。

※5 音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2025 年度版」

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 竜太郎

【資本金】 4.5 億円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://science-arts.com/>